

私は高校で硬式テニス部に所属して、全国大会に出場する程のレベルで練習量も多く、ハードでした。一週間に休みは一日しかなく、しかも休日は一日中練習でした。ために、勉強をできる体力も気力も全くありませんでした。勉強をできる時間があっても予習と宿題に追われ、復習まで手がまわらない状況でした。進学校であり、ため周りのみんなと実力は離れていきました。入学前は文武両道をこなすことを目標に決めましたが、あまりのつらさに泣いたこともありましたが、定期的にテスト期間には部活も休むに、大いに進学するため、評価は落ちないように定期テストには一番力を入れてまとめ、復習していましました。しかし、三年になり部活を引退し、八月から勉強勉強と向き合い始めました。しかし、周囲はもと早い時期から受験勉強を始め、いたので私は焦っていました。また、高校受験の際、私は公立高校を受験しなかつたので、受験勉強

というものを知らず、何かを手をフツツいい  
 のか分かりませんでした。学校も受験に何ヶ  
 勉強に力を入れたので部活引退後も  
 学校の課題でいっぱい、いっぱいでした。七月  
 頃に始めたいウイズの教材にもほとんと手をフ  
 けることかできませんでした。予定通りに進  
 めることかできなかつたけど、取り組ぶよう  
 に努力はしました。  
 結局セニター試験までに教材も自主学習  
 も最後まで成し遂げることはできませんでした  
 当然、結果も思うようにはいきませんでした。  
 した。しかし、今までの勉強で役に立って二  
 ともあり、どの結果にならなければ済みました。  
 受験校を決める際、成績を考慮し自分が学  
 びたい学科とは違う学科を担当の先生にすす  
 められました。しかし、一年のときからの  
 管理栄養士になりたいたい、という夢を諦められ  
 ず、ウイズめスタ、7の方や親とギリギリま  
 だ相談をして、ウイズめスタ、7の方に教  
 えていた学校を受験することにしませんでした。

として、この学校に合格することだったが、  
 した。受験形式は、小論文と面接だ。この  
 国語の先生に小論文の添削をしてもらい、対  
 策をされました。今は、自分の夢を諦めずに本  
 当にがんばりたいと思います。これらの背景  
 には、私を支え、見守ってくれた家族と一緒に  
 頑張る友達、そして最後まで真剣に私の  
 夢と向き合ってくれたライズのスタッフ  
 の方がいたことに感謝しています。また、  
 とえ失敗しても夢を諦めない気持ちほとほと  
 強いのと同じことを痛感できた貴重な体験でし  
 た。どこに行っても自分が何をやるかが重  
 要。というライズのスタッフの方の言葉を胸  
 に刻み、悔いのないよう精一杯頑張りたいこ  
 うと思えます。